

平成 29 年 9 月 26 日
地 域 医 療 課

介護老人保健施設の調査研究について

1 目的

区内の介護老人保健施設（以下、「老健」という。）職員（管理者、医師等）でワーキンググループを設置し、老健（通所・入所）の現状と課題を明らかにし、在宅療養を推進するための老健のあり方および各老健の特性を活かした利用促進方法について検討する。

2 ワーキンググループメンバー

区内 14 か所の老健より各 1 名

3 調査のスケジュール

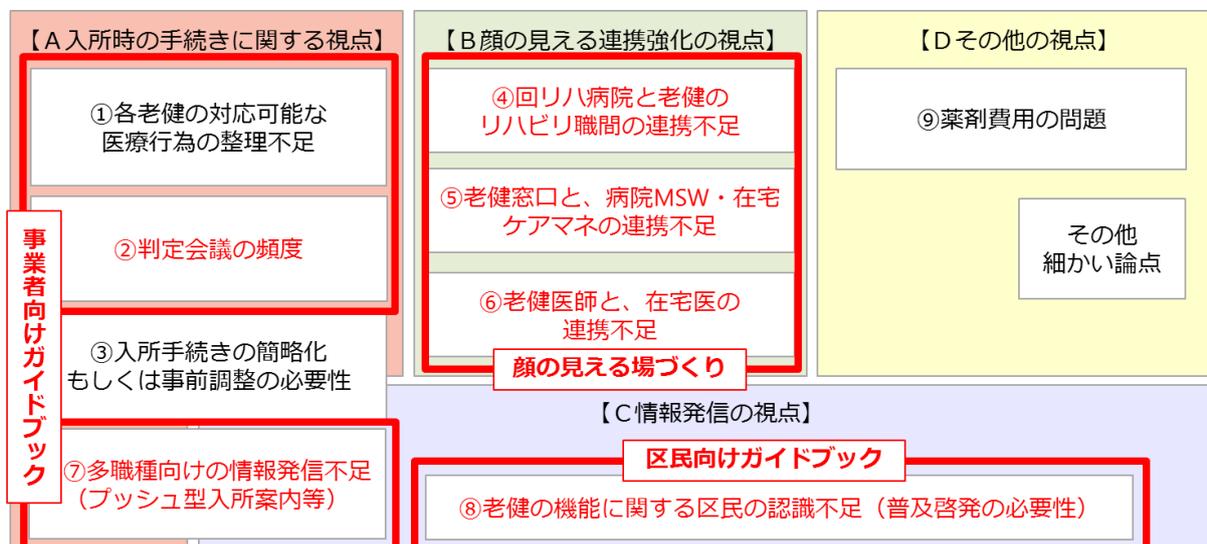
平成 28 年度

4 月 19 日	多職種への事前インタビュー	利用上の課題と期待する機能の整理
6 月 20 日	第 1 回 ワーキンググループ	課題の整理
7 月 26 日	第 2 回 ワーキンググループ	対応策の検討
9 月 20 日	第 3 回 ワーキンググループ	啓発資料の作成

平成 29 年度

7 月 10 日	第 4 回 ワーキンググループ	啓発資料の検討
9 月 12 日	報告会	議論と今後の取り組み案に対する多職種からの意見
9 月 26 日	第 2 回在宅療養専門部会	議論と今後の取り組み案に対する助言
11 月 21 日	第 5 回ワーキンググループ	報告書（案）、啓発資料の決定
1 月	第 3 回在宅療養専門部会	報告書（案）の決定
3 月	第 2 回在宅療養推進協議会	報告書の決定

4 老健の課題と今後の取り組み案



5 老健ガイドの作成

区民向け（資料1-2参照）

見開き 2～3 ページ目	老健を活用した 2つの事例の紹介	老健の活用イメージ（流れや過ごし方）を、 事例を通じて理解してもらう
見開き 4～5 ページ目	老健で実施するリハビリや多 職種による支援について説明	老健の強みを写真と吹き出し等を使って 詳しくかつ分かりやすく伝える
見開き 6～7 ページ目	区内 14 施設の紹介	14 施設の立地と特徴を一覧で示し、比較し やすくする
裏表紙	特養との違い、費用、 相談の流れ	区民が老健の利用を検討する上で気にな るポイントを解説

事業者向け（資料1-3参照）

老健と他施設の比較	老健と、特養や療養病床、地域包括ケア病棟の相違点を解説し、 これらを使い分けられるようにする
在宅療養を支える老健の機能	病院から在宅への中間施設としての役割だけでなく、老健の多 様な機能について紹介
老健の費用（加算等）	老健の費用の構造と主な加算（実施できるサービス）を紹介
各老健の紹介	各老健が実施しているサービス内容、リハ職の配置、費用、対 応可能な医療行為、判定会議等について、共通フォーマットで 整理し、MSW やケアマネジャー、在宅医等が老健間の比較がで きるようにする
診療情報提供書の紹介	入所の判定会議で必要な書類について解説し、入所手続の明確 化を図る

6 老健ワーキンググループ報告会（資料1-4参照）

開催日：平成 29 年 9 月 12 日（月）

対象者：事前グループインタビュー参加者

（病院看護師 2 名、病院 MSW1 名、在宅医 1 名、回復期病院 PT1 名、
訪問看護師 1 名、高齢者相談センター主任 CM1 名）

目 的：老健ワーキンググループでの議論と老健の利活用に関する取り組みについて、
多職種からの意見および提案を求め、今後の活動に活かす。

本日、在宅療養専門部会いただきたい助言

下記の 2 点について意見交換

- (1) 「老健ガイド」の効果的な活用方法と普及方法は何か？
- (2) 「顔の見える場」をどのように作っていくのが良いか？